

一般質問は

質問方法

次の3通りから議員が選択します。

- ①一括質問方式（演壇で行い、3回まで可能）
- ②一問一答方式（発言席で行い、回数制限なし）
- ③1回目は演壇で一括質問、
2回目以降は発言席で一問一答方式



身近な地域で、その地域ならではのアートや文化に触れることができる八王子芸術祭

織物をモチーフにした展示や、使われなくなつた染物工場などの廃工場を活用した作品展示等を行うことで、地域の新たな魅力と価値の創出に取り組んでいる。

問 7年11月8日から開催している八王子芸術祭2022※は、2年ごとに開催地を巡回する、地域密着型の旅する芸術祭である。地域の魅力を引き出すため、文化芸術をどのように活用しているのか。

今回の地域では、歴史的・文化的・伝統的な魅力が地域の魅力を引き出すため、文化芸術をどのように活用しているのか。

文化芸術

八王子芸術祭2025の取り組みは

問 本芸術祭を開催したことでの、10年後の市のビジョンをどのように考えているのか。

答 本芸術祭は、身近なところで気軽に文化芸術に触れる機会を提供し、新たな地域の魅力に気付くきっかけであるとともに、新たな価値をつくり上げる事業と考えている。

10年間にわたる事業を実施する中で、文化芸術を身近で楽しめる生活をもたらすなど、多彩な地域特性をいかしたまちづくりにつながるよう、取り組みを進めていく。

問 総合対策「つながるプラン」により、子どもたちが安心して学べる環境づくりを進めているが、その内容は。

図書館や学校給食センターなどとの連携を進めるとともに、オンライン教育支援センター「はちっこるーむ」を開設し、多様なニーズに応じた支援を展開している。今後は、相談や指導を受けやす

学校教育

不登校児童・生徒へのさらなる支援体制は

問 5年度に策定した不登校総合対策「つながるプラン」により、子どもたちが安心して学べる環境づくりを進めているが、その内容は。

生き抜く力を身に付けるには、人や社会とつながり、居場所があると実感できる経験が重要と考えている。卒園した幼稚園や保育園等を含め、あらゆる選択肢を活用し居場所の拡大に努め、さらなる不登校対策に取り組んでいく。

問 卒園した幼稚園や保育園等であれば、子どもや保護者に寄り添った支援ができると考える。幼稚園や保育園等の協力を得ながら、不登校対策をさらに充実してもらえないか。

すべての子どもが社会で生き抜く力を身に付けるには、人や社会とつながり、居場所があると実感できる経験が重要と考えている。卒園した幼稚園や保育園等を含め、あらゆる選択肢を活用し居場所の拡大に努め、さらなる不登校対策に取り組んでいく。



問 修学旅行や移動教室を含めた校外学習で得た経験等

は、その後の人生の可能性を大きく広げるものと考えるが、修学旅行や移動教室で期待される効果は。

問 バス会社の人手不足等に伴うバスの利用は、児童・生徒の安全確保という意義もうに確保するのか。

あることから、特定の期間に利用が集中しないよう、学校行事の実施時期を調整し、必要台数を確保している。今後も、安全に配慮しながら、効果・効率的な手立てを講じ、校外学習の機会を確保することと、実体験を通して学ぶ教육活動の充実に努めていく。



答 目的地において教科等にかかる学習を効果的に行うとともに、児童・生徒が自然や文化に親しみながら、普段とは異なる環境の中で集団生活を経験することで、より良い人間関係を築く貴重な機会となっている。

※ 5年度に高尾など八王子西部から開始し、隔年開催で10年掛けて中野・大和田や、南大沢、戸吹、中心市街地等の5地域を巡る芸術祭。第2回目の今回は、中野・大和田・小宮・石川で開催